
少女と娘

海記 龍

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

少女と娘

【Nコード】

N0488S

【作者名】

海記 龍

【あらすじ】

「ある日の少女」の続編です。

読んでもらわなくても内容は分かりますが…、読んでもらった方がすぐ分かると思います。

(前書き)

あらすじに書いてあることしか言えませんか…。

ある朝のことです。

本当の両親に、小さい赤ちゃんが生まれました。
その子は、その子の親と娘が名前を決めました。

数年後の、ある朝のことです。

数年前に生まれて、娘や両親に大切に育てられてきた少女は、
だんと娘に似てきました。

両親は、毎日少女の顔を見ると、少しつらそうな顔をします。娘は、
その理由を分かっているのです、こちらもつらそうな顔をしてしま
います。

そんな家族を見て、少女はとたんに泣き出してしまいます。毎日こ
うです。

ですが、こんな時は娘が。昔、自分が幼かったころに買ってもら
た、ファンタジーの本を差し出します。少女もこの本が大好きで、
泣いていてもこの本を見せるとすぐに泣きやみます。
好みまでもが娘に似てきました。

ある朝のことです。

娘は、いつものように少女と遊んでいました。

少女は、歩く練習中に、すぐそばにあった机の角に頭を強く打つて
しまい、倒れました。

娘は驚いて、すぐに両親たちを呼びました。

少女の父親が救急車を呼び、すぐに病院へ運ばれました。母親が一
緒に病院へ行きました。

しばらくして、病院から連絡が入りました。

すぐに全員で駆けつけると、点滴のチューブにつながながらも、元気そうに笑う少女の姿がありました。

待っている間に娘は、「自分のせいだ」と責任を感じていましたが、その笑顔を見ると、ほっと胸をなでおろしました。

医師の説明によると、幼児の頭蓋骨は柔らかく、簡単に骨折することはないらしく、全員安心しました。

次の日、もう一度検査があり、異常がなくなったのでチューブもとれ、無事に家に帰れました。

その次の日の、ある朝のことです。

3日前には頭を打って倒れたというのに、とても元気に遊んでいる少女を見て、娘は涙が出ました。

心配そうに駆け寄って来る少女の頭を撫でてあげました。

その家族は、ずっと仲良く暮らしていました。

（後書き）

最後まで読んでいただき、ありがとうございます。

途中のけがは、自分でもほとんどよくわかってないので、違くても何も言わないでください…。

感想などもよろしく願います。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0488s/>

少女と娘

2011年10月8日14時41分発行